

子ども部の目標（平成24年度）

【部の経営理念】

『応援します！すこやかな子育て・楽しい子育て』

◆家庭、地域、保育所・幼稚園、学校などが連携して、社会全体で子どものすこやかな育ちを支えていくとともに、子育てをしながら親と子が共に育つ環境整備に努める。

◆子どもを安心して産み、健やかに育てるため、妊娠期からの母子保健サービス及び感染症予防対策の充実に努めるとともに、要保護児童対策の充実に努める。

◆成長発達に特別な支援を必要とする子どもの早期発見と乳幼児期から総合的に対応できる療育や発達支援体制の充実に努める。

【部の重点目標】

24年度に取り組む重点目標	左記の具体的な内容	関連施策		
		部	章	節
子どもの健全育成	「宗像市子ども基本条例」を施行し、子どもの権利に関する基本的事項を定めるとともに、広く普及・啓発を図る。 総合的な幼児教育の充実に努めるため、家庭、地域、保育所・幼稚園、学校がそれぞれの役割を認識し、連携した取組みを推進する。	2	1	1
		2	2	1
母子の健康支援と要保護児童対策の充実	妊娠期および乳幼児期の母子に対する健康診査、母子訪問・相談・教室事業を実施する。また、子どもの感染症を予防するため、公費による予防接種を行う。 要保護児童対策を充実させるため、関係機関との連携を深めるとともに、市民へ児童虐待防止の啓発を行う。また、子育てに関する悩みや心配事の相談に応じる家庭児童相談事業の体制強化を図る。	2	1	1
		5	2	1
発達支援体制の充実	成長発達に特別な支援を必要とする子どもの早期発見拡充への取組みを引き続き行うとともに、発達支援センターに関わる専門機関や関係部署との連携を密にし、発達支援体制の充実に努める。	2	1	1

【部の経営資源】

職員数	部長1人 子ども育成課11人 子ども家庭課18人 発達支援センター7人 子ども部職員計37人 (うち非常勤嘱託職員・非常勤任用職員・再任用職員・任期付職員(常勤・短時間)12人) 職員比率(正規職員) 6.0%(子ども部25人/市職員419人)
予算規模 (平成24年度)	・ 一般会計 4,386,248千円

【子ども部】

【各施策の推進目標】

総合計画 体系 (後期)	部	2	子育て環境の充実					
	章	1	子どもを安心して生み育てられる施策の充実					
	節	1	子育て支援					
	将来像	安心して子を生み、元気な子が育つまち						
推進目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターで講座など育児力を高める取り組みを進めるとともに、身近に相談できる場を提供する。幼児教育振興プログラムに基づく事業を実施し、保幼小の連携の推進と幼児教育から小学校教育への接続の強化を図る。 ・児童虐待防止対策の充実を図るため、家庭児童相談事業の体制強化を図るとともに、要保護児童対策地域協議会において、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応への連携、充実を図る。 ・子育て環境の充実を図るため、妊婦健康診査、乳幼児健康診査の受診率向上および要支援者に対する早期対応を強化するとともに、育児不安の解消および地域の仲間づくりを支援するため、母子の訪問・相談・教室事業内容の充実、改善を図る。 ・成長発達に特別な支援を必要とする子どもの早期発見拡充への取り組みを引き続き行う。 ・次世代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援する観点から、中学校修了までの児童を養育している人に子ども手当を支給する。 							
指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な事業	事業名	予算額
	安心して子育てができると感じる市民の割合(%)	48.3	49.6	50.8	52.0		発達障害支援事業費(3-1-2)	4,314千円
	子どもが元気に育っていると感じる市民の割合(%)	91.6	92.7	93.9	95.0		発達障害早期発見事業費(3-1-2)	3,389千円
							子ども手当給付費(3-2-2)	1,550,728千円
							保育所保育実施事業費(3-2-2)	1,329,101千円
							母子保健事業費(4-1-3)	99,105千円
総合計画 体系 (後期)	部	2	子育て環境の充実					
	章	2	青少年の健全育成					
	節	1	青少年の健全育成					
	将来像	心身ともに健全な青少年が育つまち						
推進目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「宗像市子ども基本条例」を施行し、関連施策の検討及び推進を図るとともに啓発冊子の作成等により普及・啓発を行う。 ・新築移転する玄海小学校学童保育所については、利用しやすい施設を目指して整備を行う。 ・家庭教育力及び地域教育力の向上を図るため、家庭教育学級等による学習機会の充実を図る。 ・子どもの居場所づくりを推進し、体験活動や地域活動への参加促進を図る。 							
指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な事業	事業名	予算額
	刑法犯少年非行件数(件)	81	79	77	75		学童保育所管理運営費(3-2-2)	160,219千円
	将来の夢、目標を持っている中学生の割合(%)	74.0	75.0	76.0	77.0		子ども育成推進事業費(10-1-7)	5,764千円

【子ども部】

総合計画 体系 (後期)	部	5	市民の健康づくり・福祉の向上					
	章	2	保健・医療の充実					
	節	1	健康づくりの推進					
	将来像	市民が自ら健康づくりに取り組み元気に生活しています						
推進 目標	・感染症予防対策として、定期の予防接種に加え、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンほか、接種費用の公費負担による任意の予防接種を行う。任意の予防接種である子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種費用の全額公費負担及びみずぼうそう、おたふくかぜ予防接種費用の一部公費負担を行う。							
指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な 事業	事業名	予算額
	日ごろから健康づくりに取り組んでいる市民の割合(%)	70.0	71.2	72.3	73.5		予防接種事業費(4-1-2)	236,562千円
	元気と感じている市民の割合(%)	65.1	66.8	68.4	70.0			
	生活習慣病で死亡した人の割合(%)	12.3	12.3	12.2	12.2			
総合計画 体系 (後期)	部	5	市民の健康づくり・福祉の向上					
	章	4	障害者福祉の充実					
	節	1	障害者の地域生活の向上					
	将来像	住み慣れた地域で、共に支え合い、障害者が自分らしく安心して暮らせるまち						
推進 目標	・発達支援センターの療育部門を担う障害児通園施設「のぞみ園」において、障害児及び保護者のニーズに対応した療育等を充実させる。							
指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な 事業	事業名	予算額
	施設入所者の地域生活への移行人数(累計)(人)	11	13	15	17			
	福祉的就労から一般就労した人数(累計)(人)	8	10	12	14			
	障害のある人に対する理解が進んでいると思う市民の割合(%)	25.8	27.5	29.3	31.0			
総合計画 体系 (後期)	部	5	市民の健康づくり・福祉の向上					
	章	5	社会保障制度の健全運営					
	節	3	生活支援の充実					
	将来像	経済的に支援が必要な人に適切な支援が行われています						
推進 目標	・ひとり親家庭の生活安定と自立促進のため、児童扶養手当の給付を行う。また、県の母子家庭等就業・自立センターと連携し、就業に向けた情報提供や支援を行う。							
指標	指標名(単位)	H23	H24	H25	H26	主な 事業	事業名	予算額
	児童扶養手当支給停止者割合(%)	7.2	7.3	7.4	7.5			
	生活保護自立率(%)	28.3	28.8	29.3	29.8			
	困っているときにセーフティネットがあると思う市民の割合(%)	7.3	7.9	8.4	9.0			